

## 審 議 結 果

会 議 名	令和5年度 第1回 川口市立科学館運営審議会
開 催 日 時	令和5年7月12日(水) 午前10時00分から12時00分まで
開 催 場 所	川口市立科学館 サイエンスルーム (所在地: 川口市上青木3-12-18 (SKIP シティ内))
出 席 者	渡邊会長・郡副会長・星野委員・高橋委員・功刀委員・吉岡委員 永瀬委員・金子委員・鈴木委員 (事務局) 濱田教育総務部長・藤田館長・荒井副館長・針谷副館長・中田副主幹 廣戸副主幹・鈴木主査
議 題	(1) 川口市立科学館について (2) 令和4年度事業報告について (3) その他 ※ 閉会后 展示室視察及びプラネタリウム鑑賞
公開/非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由	
傍 聴 人 の 数	0人
会 議 資 料	会議次第 資料No.1 川口市立科学館運営審議会委員名簿 資料No.2 川口市立科学館設置及び管理条例 資料No.3 川口市立科学館管理規則 資料No.4 川口市立科学館運営審議会条例 資料No.5 第5次川口市総合計画(抜粋) 資料No.6 川口市教育振興基本計画(抜粋) 資料No.7 令和4年度入館者数及び各事業実績 資料No.8 川口市立科学館令和5年度事業スケジュール 別資料 年報・特別展開催報告・7月, 8月館報・プラネタリウムチラシ サイエンスマーフェスチラシ・カモフラージュ・特別展シール
審 議 経 過	別紙とし添付する。
そ の 他	

## 審 議 経 過 （会議録）

### 1、開会（午前10時00分）

### 2、事務局説明

- (1) 委員11名のうち9名出席で過半数に達していることから、川口市立科学館運営審議会条例第7条第2項の規程により本審議会が成立している旨、事務局より報告。
- (2) 審議会公開のため、傍聴人を募集したところ申込者がいなかった旨、事務局より報告。
- (3) 事務局より配布資料の確認。
- (4) 委嘱後最初の委員会であることから、委員自己紹介・事務局自己紹介を実施。

### 3、協議事項

#### (1) 会長・副会長の選任

仮議長に渡邊委員が事務局提案で選出され、仮議長進行により、会長渡邊委員・副会長郡委員が選出され、承認された。

#### (2) 議事録署名人の選任

会議録署名人の選任について事務局より説明。

議事録署名人を慣例により名簿順としているが、小松委員が欠席のため、星野委員と高橋委員が選出され、承認された。

#### (3) 会長挨拶

(1)にて会長が承認されたことに伴う会長挨拶。

### 4、議題

（議長進行：川口市立科学館運営審議会条例第7条1項の規程により議長の進行とする。）

#### (1) 川口市立科学館について

##### ○事務局

資料2～資料6に基づき事務局から説明

##### 【質疑応答】

##### ○委員

23ページ科学館の「年間利用者数」について、令和4年度は208,301人と報告があったが、この数字は、事業報告に出てくる数字がどのようになっているのか。

「入館者数」との違いについて教えていただきたい。

○事務局

「入館者数」とは、入館していただいた実人数そのものであり、「年間利用者数」とは入館してからステージの「サイエンスショー」や「ものづくり」、「わくわくワーク」、「夏休み科学教室」などの事業に参加した数もすべて含まれ、延べ人数としてカウントしている。

○委員

この「年間利用者数」208,301人という数字は、資料のどの部分に出てくるのか。

○事務局

本日の資料にて、この後報告する事業は、抜粋のものであり、「年間利用者数」のすべては、本日机上配布資料の「年報」で確認できる。

○委員

目標値について、平成30年度の利用者数を基準に毎年1%増としているのに、令和元年度より令和7年度の目標値が低い数字となっているが、どのような理由からなのか。

○事務局

令和元年度については、元号が変わり「天皇即位礼正殿の儀」に伴う無料公開や、たたら祭りがオートレース場からスキップシティに変更になり、その期間も無料公開にしたことなど、例年とは違う数字になってしまうことから、前年の平成30年度を基準にした。

○委員

利用者数の数字で、市内と市外の人数はどのようになっているのか。

○事務局

一般の来館者について、来館される方が市内であるか、市外であるかのアンケート調査は実施していないが、学習利用としては、本日お配りした「年報」の15ページ下段の「学習利用状況」に掲載されており、科学展示室、プラネタリウムそれぞれの状況が記載してあるが、科学展示室利用は市外が若干多くなっており、プラネタリウムは圧倒的に市内が多い状況である。

(2) 令和4年度事業報告について

○事務局

資料7に基づき事務局から説明

【質疑応答】

○委員

資料34ページの研修・視察等の受入れで、本年度も1月に芝西中学校陽春分校として夜間中

学校に通っている生徒に科学の楽しさを経験させるべく、事業を計画している。プラネタリウム鑑賞や天文台見学など、これからの打合せになってくると思うが、生徒にとっては貴重な経験となるので、本年度も是非受入れをお願いしたい。

○委員

昨年度の科学館の利用者数は、コロナ前の数を超えてきたということで、コロナ禍では例年の1/3とか2/3に入場者数が減っていたが、ようやく戻ってきた。特別展を私も見たがよく頑張っていると思う。今後更に皆さんに魅力を感じて貰えるような企画を期待している。

(3) その他について

○事務局

資料8に基づき事務局から説明

【質疑応答】

○委員

下半期12月の特別展の内容はどのようなものを予定しているのか。

○事務局

これから、業者のプロポーザル方式で決定する予定であり、様々テーマが提案される。決定次第、ホームページ等に掲載させていただく予定である。

○議長

事務局からその他。連絡等があるか。

○事務局

次回、第2回目の科学館運営審議会は、令和6年1月末～2月上旬を予定している。

5、閉会（11時00分） 副会長挨拶

6、展示室視察（11時 5分～11時15分）

プラネタリウム鑑賞（11時20分～11時50分）

7、終了（12時00分）